

平成28年度

企画調整課事務報告

企画調整係

商工観光係

情報通信係

○事業成果の概要(企画調整課)

山江村においては、山江村人口ビジョン及び山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる数値目標の実現に向け、各種事業を実施した。

平成27年度補正予算、地方創生加速化交付金を活用し『山江村総活躍しごと創出事業』として、観光・交流客の増加を図り、特産物等の販売増、新たな産業づくりを目的としたフットパスコースの開発を行い、4つのコースが完成した他、移住定住を促進させるツール(動画・パンフレット)の作成、空き家を改修し体験型宿泊が可能となるゲストハウスの整備等を実施した。

また、地方創生の歩みを確実に進めるため、地域資源を活用した産業創出を目的とする『山村活性化支援交付金事業』が2年目迎え、やまえ栗や柚子等を原材料とした特産物の更なる浸透を図る目的で、統一したパッケージデザインの開発を行った。

併せて、QRコード付き栗商品パンフレット作成や真空調理・冷凍保存技術の研究にも着手している。平成29年度には、やまえ栗商品を海外にて実践販売する計画も進行している。

平成28年1月に開所した『山江村地域づくり研究所』では、東京大学との共同研究において、村が抱える様々な課題の洗い出しやその解決へ向けた政策立案を行うことはもとより、ICTを活用したむらづくりを展開するために策定した山江村情報化戦略を基に、4つの分野(農業、防災・環境、福祉、教育・人材育成)で取り掛かった。更に「村民の誰もが元気で楽しく暮らしやすい村づくり」を目的とした、住民参画による村づくり組織『100人委員会』が設立され、集落営農・地産地消、やまえ栗ブランド、観光・交流、食の提供、情報発信、環境・防災、福祉、健康・スポーツ、文化・教育の9つの村づくり部会において、活動が始まった。

この他、「本村の豊かな自然や現存する施設を有効的に活用する」、「今よりも使いやすくなる・楽しくなる公園」、「無理をしない公園」などを基本理念とした、山江村総合公園基本計画の策定を行った。また、ふるさと納税における納入方法の見直しを行った結果、前年度比10倍以上の寄付額となった。

企画調整係

1. 地方創生推進事業

人口減少・超高齢社会を迎え、構造的な課題に対して地方創生に取り組み、課題解決に向け地方創生加速化交付金を活用し各事業を実施した。

(単位:円)

No	事業名	金額(税込)	備考
1	山江村地域づくり研究所及び 山江村未来塾100人員会運営支援事業	12,031,200	
2	山江村フットパスコース開発事業	14,987,700	
3	移住定住促進ツール作成事業	7,938,000	

2. 山江村住宅リフォーム助成事業

住民の居住環境の向上及び村内の商工業等の活性化を図るため、住民が居住する住宅のリフォームにおいて助成を行った。

(単位:円)

No.	対象必須工事	工事額(税込)	交付決定額
1	農業集落排水接続	642,000	128,000
2	段差解消	594,000	118,000
3	段差解消	465,264	93,000
4	農業集落排水接続	2,264,544	200,000
5	段差解消	270,000	54,000
6	段差解消	320,760	64,000
7	木材利用促進	885,600	177,000
8	段差解消・木材利用促進	1,213,034	200,000
合 計		6,655,202	1,034,000

3. 企業誘致及び工業用地等造成事業

人吉・球磨企業誘致連絡協議会の活動

人吉・球磨の10市町村が、企業誘致に関する情報を交換し、また、連携して企業誘致を推進することにより、人吉・球磨地域における雇用の場を創出することを目的として活動を実施した。

【平成28年度の活動実績】

- 運営委員会の定例会を各月開催(11回)
- 熊本県企業立地課との意見交換会の実施
- 人吉球磨の誘致企業見学(HITOYOSHI株式会社、株式会社ニシハラグリーンファーム、球磨プレカット株式会社)
- 企業誘致食品開発展2016フェア参加
- 熊本県出身企業者訪問(株式会社エス・シー・アイ、こだま食品株式会社)
- 企業訪問(株式会社油津応援団、WASHハウス株式会社、株式会社アラタナ)
- パンフレットによる情報発信

4. 広報やまへの発行

「広報やまへ」は、住民へ山江村の政策や住民サービス情報、村内の話題等を伝えることを通じて、住民と行政のパイプ役として重要な役割を果たしている。また、村外にいる山江出身者へも故郷の状況を伝える役目も担っている。

現在、広報誌の内容はホームページ上でもPDF形式により掲載しており、全世界から山江村の広報を閲覧することも可能。購読希望者へは有料で送付している。

- 事業費 2,714,904 円
- 発行部数 1,400 部／1 カ月
- 発行日 毎月第4金曜日
- 村外購読者数 19 名

5. 統計調査業務

(1) 学校基本調査

基準日:平成28年5月1日

(2)市町村村民所得推計

調査対象年度:平成 26 年度

(3)平成 28 年経済センサスー活動調査

基準日:平成 28 年 6 月 1 日

6. ふるさと山江村定住奨励記念品贈呈

定住を奨励することを目的として、村内に住宅を新たに建設又は購入し、村に転入した者に対し歓迎の意を込め記念品を贈呈した。

○「ほたる米」引換券 12 枚(240kg分)を贈呈(3 件)

7. 山江村ふるさと応援寄附

【寄附金内訳】

	寄附者の寄附金希望使途事業	金額
1	特産品の開発及び地域産業の振興に関する事業	920,000 円
2	高齢者の生活を支援する地域づくりに関する事業	710,000 円
3	自然環境保全並びに地域景観の創造に関する事業	1,060,000 円
4	青少年の健全育成及び教育環境整備に関する事業	1,080,000 円
5	伝統芸能並びに文化の伝承及び創造に関する事業	210,000 円
6	ボンネットバス「マロン号」の保存及び活用に関する事業	290,000 円
7	その他目的達成のために村長が必要と認める事業	7,530,000 円
	合 計 (935 件)	11,800,000 円

8. 土地利用

国土利用計画では、土地の利用について土地の高騰を抑制して、乱開発を未然に防止するため届出制による土地取引を義務付けている。

○ 国土利用計画法第 23 条第 1 項による届出件数(10,000 m²以上) 2 件

9. 番号制度に係る各種システム改修及びセキュリティ強化対策

平成27年10月5日より番号法が施行されたことに伴い、各種基幹系システムの改修を行った。また、平成29年7月より本格始動する情報連携開始に向けて市町村間での総合運用テスト等の事前準備を行った。

セキュリティ強化として、マイナンバーによる情報連携に活用される LGWAN 系とインターネット系を分離し、基幹系からの情報持ち出し不可設定等を図り、住民情報流出防止対策など庁内ネットワークの三分割や二要素認証によるログインなどの対策を実施した。

10. 山江村移住定住促進事業

人口減少・少子化対策の一環として、平成26年度より補助金を活用した移住定住促進の事業を進めている。平成28年度は2つの補助金を活用し、事業を実施した。

○事業内容(県:地域づくり夢チャレンジ推進補助金)

事業費 7,344,952 円 内補助金 3,516,000 円

- ・「山江村移住定住促進委員会」会議開催(2回)
- ・空き家改修工事
- ・移住相談会への参加(会場:東京都)

○事業内容(国:地方創生加速化交付金)

事業費 7,938,000 円 内補助金 7,938,000 円

- ・PR パンフレット、動画、ウェブサイト作成
- ・移住座談会開催
- ・移住モニターツアー開催

11. 山江村地域づくり研究所

地域づくり研究所は、山江村の情報をあまねく集め、データ化することで、誰にでも現状の見える化を図り、地域の課題を解決する調査・研究や提言を行うことや、村民生活のあらゆる分野においてICTを活用することで、安心安全な暮らしや、福祉の向上、産業振興による所得の向上、雇用の創出を進める。また、山江村未来塾100人委員会など、村民が主役となる地域づくりの実践活動を支援するため、平成28年1月22日に開設した。

東京大学大学院情報学環須藤研究室とICTの活用についての共同研究に取り組んでおり、民間・大学・行政の連携の中に、新たな村づくりを進める。

① 東京大学との共同研究

共同研究負担金: 6,997,320 円

研究結果

- ・山江村地方創生情報化戦略の進捗状況報告書
- ・やまえ栗の公式ガイドブック
 - やまえ栗の一年(32 ページ)
 - 山江村は栗づくし(8 ページ ダイジェスト版)
- ・マロンブレンドの開発サポート
- ・地域づくり研究所のホームページ管理
- ・和栗ライブラリーの提案とサポート
- ・セミナーの開催
 - H28.11.24 持続可能な地域コミュニティ
 - H29.2.24 海外の農業副業ビジネス

② 研究分野

- ・村が作成する計画への政策提言
- ・山江村のデータ収集
 - 事務報告、観光統計、山江村総合振興計画、高齢者福祉計画
 - 熊本県市町村要覧、栗に関する書籍、栗のレシピ、新聞記事等

③ ICT 分野

- ・情報発信と閲覧分析
 - Facebook 管理(山江村、山江村地域づくり研究所、山江村未来塾100人委員会、やまえ栗まつり、山江フットパス)
 - 山江村地域づくり研究所ホームページ管理
- ・研究所通信の発行 NO.1~NO.4
- ・バーチャルリアリティ映像の製作
 - サイト Roundme へ山江村の 360 度写真の掲載 21 枚
 - <https://roundme.com/@kawaguchi>

④ 人づくり分野

・山江村未来塾の開催

山江村のより良き未来を創造するため、地域づくりのあり方について考えを深めるシンポジウムを開催した

開催日:平成28年4月27日(水)

内容:誰もが元気で楽しく暮らしやすい村づくり

基調報告:山江村地方創生情報化戦略について

報告者:東京大学大学院情報学環 特任講師 並木志乃氏

・100人委員会

山江村未来塾の考え方をもとに、住民が主体となり、各分野に分かれて地域づくりを行う任意団体。平成28年5月19日にワークショップを開催し、分野別に夢や希望、村づくりについて協議。

9月に9つの部会が立ち上がり、それぞれの部会で活動内容を協議した。

運営支援業務委託:12,031,200円

全体会 4回

分野別検討会 5回

部会会議 36回

その他の会議 2回

○100人委員会 部会ごとの活動目標

部会	活動の具体的内容	会員
① 集落営農・地産地消 部会長：又村元規 書記：秋丸大輔	<ul style="list-style-type: none"> ・若手農業者による共同栽培及び勉強会 ・農業者への行政支援情報サイト 	15人
② やまえ栗ブランド 部会長：久保田武久 書記：田山雄貴	<ul style="list-style-type: none"> ・品質管理、栽培管理、後継者問題への対応策 ・栗栽培マニュアルの作成と普及活動 ・栗祭りへの「ぼろたん」の出品・販売 	8人
③ 観光・交流 部会長：田村四郎 書記：中竹浩之	<ul style="list-style-type: none"> ・山江村観光ガイドの育成 ・ボンネットバスの観光活用（モニターツアー） 	12人
④ 食の提供 部会長：山北早織 書記：尾方恵美	<ul style="list-style-type: none"> ・「トキの朝市」の開催 ・山江らしい食の開発 	11人
⑤ 情報発信 部会長：山本浩己 書記：藤本一彦	<ul style="list-style-type: none"> ・山江村のPR動画の作成 ・情報化推進委員と連携した地域情報受発信 	7人
⑥ 環境・防災 部会長：横山浩之 書記：山本征治	<ul style="list-style-type: none"> ・川遊びや森の遊び場づくり ・行政と連携した環境美化運動 	14人
⑦ 福祉 部会長：川内孝之 書記：深水久美子	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がイキイキと働く場づくり ・みんなで食べる「子ども食堂」づくり 	12人
⑧ 健康・スポーツ 部会長：谷川正晃 書記：藤田雄哉	<ul style="list-style-type: none"> ・救急・救命法のビデオ作成 ・ビーチサッカーの普及 	6人
⑨ 文化・教育 部会長：横山理恵 書記：吉川和子	<ul style="list-style-type: none"> ・花まつりの絵本づくり ・地域の伝承・文化の記録調査 	8人

商工観光係

日本経済は、「アベノミクス第2ステージ」として、「一億総活躍社会」の実現を目的とする、「強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」からなる「新三本の矢」を中心とした政策が展開された。しかし、地方経済への波及は皆無に等しく、依然厳しい状況が続いている。

そのような中、平成28年4月に発生した熊本地震は、本県に未曾有の被害をもたらし、多くの生命・財産を奪った他、地域経済へも大きな爪痕を残した。本村における、人的・物的被害はなかったが、特産品販売の低迷や風評被害による観光交流客の減少が懸念されたが、九州観光支援のために創設された「九州ふっこう割り」をはじめとする各種の震災復興関連事業に支えられ、影響は最小限に抑えることができた。

平成28年度においては、村内消費喚起・域内経済の循環を目的とした、プレミアム付き商品券の発行を山江村商工会が事業主体として実施。これにより村内事業所へ23,961,000円の経済効果が生まれた。

熊本地震が発生したことに伴い、例年開催している「やまえつつじ祭り」を中止とし、「夏祭り」に代わり、栗のブランド化を推進する一環として「やまえ栗祭り」を開催し、県内外より多くの来場者で賑わいをみせた。

この他、赤字が続いており非常に厳しい経営状況であった、山江温泉「ほたる」・山江村物産館「ゆっくり」の経営改善に着手し、7期ぶりの経常黒字をとった。今後は、累積赤字の解消に向け、経営再建策を遂行する。

また、特産品の販路拡大を推進するため、特産品等の出店に係る助成を行った他、栗のブランド化促進事業として、パッケージデザインの作成等を行った。

1. イベント

①やまえつつじ祭り

平成28年4月14日、16日に発生した、「熊本地震」の影響により中止。

②やまえ栗祭り(第12回)

主要産業である「栗」を活用したイベントを実施し、やまえ栗のブランド力向上をはじめ、生産意欲の高揚や6次産業化を加速させ、販路拡大、交流人口の増加を図ることを目的に開催。村主催としては第1回目であり、やまえ栗を使用したスイーツの販売などを行った結果、予想を上回る5,000人を超える来場者であった。

■期日:平成28年9月25日(日)

■場所:山江村役場前広場

■出店:やまえ栗スイーツ出店11店舗、村内バザー出店19店舗

■事業費 3,927,888 円(うち熊本県夢チャレンジ事業補助金 1,843,000 円)

なお、例年開催していた、やまえ夏祭りは、栗祭り開催のため中止。

○やまえ栗まつり やまえ栗スイーツ一覧

番号	店名	住所	商品名 1	商品名 2	商品名 3
1	アントルメ菓樹	熊本市 東区	肥後栗(焼菓子)	山江村栗タルト	
2	菓子屋 木いちご	菊陽町	モンブラン		
3	メゾン・ド・キタガワ	熊本市南区	山江マロンパイ	山江リング	山江モンブラン
4	ラッキーランチ	人吉市	マロンカシス	マロンパイ	
5	ケーキ工房 ポエム	人吉市	山江栗のロールケーキ		
6	庄籠製菓舗	湯前町	栗どらやき		
7	那須宝来堂	多良木町	栗ブランデーケーキ		
8	川辺製菓本舗	多良木町	モンブラン	栗のチョコドーナッツ	
9	町屋旅館 一富士	人吉市	栗～inむブリュレ	ichifuji(栗ようかん)	
10	山江村物産館ゆっくり	山江村	栗まんじゅう	びっ栗だんご	
11	(有)やまえ堂	山江村	栗んとう万十	渋皮煮	

2. 観光振興事業

本村は観光拠点となる施設及び多くの資源に恵まれた環境にある。人々の交流促進、経済の活性化、観光の振興にはどうしても情報の発信が必要不可欠である。

都市部での催事等に参加し、本村の魅力や観光等のPRを実施。また、各種情報媒体を可能な限り駆使し、観光宣伝活動を実施した(テレビ、ラジオ番組、新聞、雑誌掲載、ホームページ、SNS等)。

山江温泉「ほたる」と物産館「ゆっくり」については、昨年度末に実施した経営コンサルタントによる経営改善(案)を基に、職員を再建担当として、抜本的な経営改善を断行した。不採算部門であった、物産館「ゆっくり」山田店の閉店をはじめ、高騰していた人件費の抑制や原価見直し等を行った。また、熊本地震からの復興を支援する「九州ふっこう割り」制度の活用による宿泊客の増加、栗まんじゅうやびっくり団子などの販路拡大が功を奏し、7期ぶりの黒字を計上することができた。

経営再建については、道半ばであるため、今後も継続的に経営の改善を図っていく。

■(株)やまえ

・山江温泉「ほたる」宿泊者数(人)

平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
1,974	2,693	3,839

・山江温泉ほたる及び物産館ゆっくり利用者数(人)

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
山江温泉ほたる	70,121	84,873	85,930
物産館ゆっくり	61,502	60,756	41,554
計	131,623	145,629	127,484

・売上額(千円)

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
174,442	202,596	206,098

・税引前当期純利益(千円)

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
△552	△8,199	10,001

・山江温泉ほたる施設工事

工事名	工期	工事請負額
山江温泉「ほたる」地下タンク送泉定水位弁取替工事	6月16日～ 6月24日	282,960円
山江温泉「ほたる」家族湯・客室露天湯給湯管改修工事	8月31日～ 11月22日	1,597,864円

3. 特産物振興関係

特産である栗を中心としながら、新たな特産物の開発や販売を行い、村民所得と山江村の認知度を向上させる取組みを行った。

2年目を迎える山村活性化支援交付金事業では、やまえ栗のPR動画やパンフレット、商品パッケージデザインの開発等を行うとともに、国内外への販売戦略会議も開催した。

また、平成21年に「海山交流宣言」を交した対馬市においては、11月5日(土)に開催された「第29回いきいき豊玉産業祭」にて栗及び栗加工品等の物産販売を行い、栗まんじゅう600個、米60キロを完売。特産品である栗を使用した加工品や地域産物等の評判も順調である。

対馬市からは平成24年度から毎年、産業振興まつりにおいて特産品の販売を実施していただいている。今後も更なる交流促進を検討する必要がある。

(1)山江村特産品等出店事業助成金交付実績

①『大九州うまいものと技紀行』

申請者:(株)やまえ

期日:4月6日～12日

場所:東京都豊島区南池袋(西武池袋本店)

出店物:栗まんじゅう、もちっ娘、栗ようかん

②『くまもと観光物産展』

期日:6月3日～5日

場所:福岡県福岡市中央区天神(福岡市役所ふれあい広場)

出店物:栗まんじゅう、びっくり団子、栗ようかん

③ 『大九州店』

期日：8月24日～29日

場所：千葉県松戸市松戸（伊勢丹松戸店）

出店物：栗まんじゅう、びっくり団子

④ 『地方銀行フードセレクション』

期日：11月8日～9日

場所：東京都江東区有明（東京ビックサイト）

出展物：栗まんじゅう、びっくり団子、栗きんとん、柚子まるん、栗ようかん

⑤ 『ニッポン全国物産展』

期日：11月25日～27日

場所：東京都豊島区東池袋（池袋サンシャイン）

出展物：栗まんじゅう、びっくり団子、栗きんとん、柚子まるん、栗ようかん
紫芋ようかん、まっ茶ようかん

⑥ 『春のくまもと県南うまかもんフェア』

期日：3月22日～28日

場所：福岡県福岡市中央区天神（岩田屋三越 岩田屋本店）

出展物：栗まんじゅう、もちまる、びっくり団子、栗きんとん、柚子まるん
栗ようかん、紫芋ようかん、まっ茶ようかん

(2) 海山交流事業（対馬市）

① 『29回いきいき豊玉まつり産業祭』

『ふれあい処つしま物産販売・山江コーナー開設』

期日：11月5日（土）から11月7日（月）

場所：長崎県対馬市

参加事業者：物産振興会、(株)やまえ

出店物：栗まんじゅう、米など

(3)山村活性化支援交付金事業

補助率10/10(6,513,496円) 総事業費 6,513,496円

- ①やまえ栗コンソーシアム(栗商品販売戦略会議)の開催
- ②やまえ栗商品改良パッケージデザイン開発
- ③やまえ栗パンフレット、PR動画、インターネットサイトの制作
- ④真空調理及び冷凍保存技術開発

(4)ふるさと名物応援宣言

地域の実情に通じ、様々な関係者との連携の軸となりうる市町村が、地域を挙げて「ふるさと名物」を応援することを目的に、「やまえ栗の加工品群」についてその宣言を平成27年9月27日に実施した。この宣言を行ったことで、中小企業庁の地域資源活用事業計画補助事業を、優先的に採択される環境を整えている。

4. 内水面漁業振興に関すること

(1)ヤマメの養殖

漁業振興と地域活性化を目的に、昭和63年度内水面漁業振興対策事業により淡水魚(ヤマメ)養殖施設を整備。

平成16年度からヤマメ生産組合へ施設管理委託を行っている。

(2)ヤマメの放流

ヤマメの放流を行いヤマメの増殖を図ることで、自然豊かな山江村のイメージを向上させる。

放流日:平成28年11月14日(月)

放流稚魚数:1,556匹 放流場所:万江川の各所

(3)稚鮎放流

昭和45年に球磨川漁協と毎年稚鮎30,000匹を万江川へ放流する稚鮎放流に関する契約を締結。

アユ放流負担金240,000円

放流日:平成28年5月13日(金)

5. グリーンツーリズム・交流事業

自然、歴史と文化、農林業など地域にあるものを見つめなおすとともに、その資源を活用しながらあるがままの山江村を体感することによって生まれる感動を根本とする交流活動を推進している。

村内団体により、下記のような交流活動が行われた。

団体名	内 容	期日等	備 考
NPOかちalinkやまえ	第12回万江川塾	8月20日	50名参加
宇美町コミュニティ・ガーデン 実行委員会	福岡県糟屋郡宇美町	2月26日	16名参加

6. 丸岡会関係

本村出身者で構成される丸岡会は、山江村の振興策の提言や交流促進を目的にお互いの親睦を深め、情報を共有するために開催される。熊本丸岡会は熊本地震の影響により中止となったため、関西地区のみで開催され、山江村の無形登録文化財に認定している東浦臼太鼓踊り保存会に依頼し、関西の会場で臼太鼓踊りを披露し参加者に好評を得た。

① 熊本丸岡会

熊本地震の影響により中止

② 関西地区丸岡会

期日：平成29年2月19日（日）

場所：ホテルアウィーナ大阪（大阪市天王寺区）

参加者：120名（会員78名、山江村から42名）

7. 結婚対策

進行する晩婚化や少子化に対応すべく、球磨郡9ヵ町村にて「結婚支援協定」が平成24年4月13日に締結され、広域で連携した支援を行っている。定期的に打合せ会議を開催し、イベントの企画を行った。

また、山江村社会福祉協議会主催によるアルペンローゼ（婚活支援事業）が展開されており、村としても「山江村婚活支援事業助成金交付要綱」を制定し参加費の一部支援を行っている。

開催イベント

●球磨郡 9 町村合同企画 クリスマスパティー

期 日:平成 28 年 12 月 3 日(土)

場 所:パルティール福寿庵(錦町)

参加者:男性 2 人・女性 1 人

●アルペンローゼ

(1 回目)

期 日:平成 28 年 8 月 28 日(日)

場 所:山江村内

参加者:男性 6 人・女性 6 人

(2 回目)

期 日:平成 29 年 2 月 11 日(土)

場 所:熊本県北部

参加者:男性 6 人・女性 6 人

情報通信係

地上アナログ放送の終了に伴う難視聴地域対策として、平成 22 年 4 月に開局したケーブルテレビセンターは、デジタル放送・BS放送・CS放送に加え村内のイベントや、行政からのお知らせなど、山江村の情報を提供する自主放送を行っている。

また、情報格差の是正として、光ファイバーによる高速インターネットを村内全域で利用できる環境を構築することで、産業経済及び教育文化の向上、村民福祉の増進を図っている。

1 加入状況

ケーブルテレビ

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
平成 28 年 3 月末	1,151	922 件	80.10%	事業所等 54 件
平成 29 年 3 月末	1,146	930 件	81.15%	事業所等 54 件

インターネット

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
平成 28 年 3 月末	1,151	231 件	20.07%	事業所等 9 件
平成 29 年 3 月末	1,146	248 件	21.64%	事業所等 10 件

加入状況について昨年度末と比較すると、ケーブルテレビの加入件数については 8 件の増となっている。世帯数も減少しているが、加入率は 80% 台を超えてきている。加入件数と新規の引込件数が増加し新たにケーブルテレビに加入する世帯が増えている。

インターネットについては、加入件数が 17 件の増、加入率が 1.57% の増となっており、年々増加している傾向にある。

2 ケーブルテレビ事業運営状況

(1) 使用料、手数料収入

○料金設定

- ・基本使用料 1,500円(セットトップボックス 1 台含む)

- ・セットトップボックス1台 500円
- ・インターネット 2,500円(一般世帯)、4,000円(事業所等)
- ・無線ルータレンタル 100円

○収入済額

- ・使用料現年度分 24,175,700円
- ・使用料過年度分 271,230円

(2) 番組制作

○やくばだより

- ・各課から選出の代表者により会議を行い、やくばだよりでお知らせする内容などを検討した。会議は2週間に1回行い年間25回の開催となった。

(毎週月曜日更新の15分番組)

○やまえ CATV 情報局

- ・山江村に関するイベントや村内の出来事などを伝えるニュース番組

(毎週土曜日更新の30分番組)

○やまえ TODAY

- ・毎日の出来事や翌日のお知らせ、おくやみ等を伝えるニュース番組

平成26年5月より放送を開始した。

15時頃までに撮影できた映像を編集し、その日の18時55分に放送している。

(議会開催日を除いた平日更新の5分番組)

○スペシャル番組

- ・体育祭や式典などを30分から2時間程度の長時間で編集した番組

(不定期更新)

○その他の番組

- ・テレビ回覧板、テレビ村長室、山江駐在所からのお知らせ、やまえねこ歩き、議会の生中継・録画放送、健康体操、その他緊急放送

(3) 機器操作等サポート

○サポート状況

- ・加入者からの連絡により毎週数回は加入者宅へ出向いてのサポートを行っている。

また、休日のテレビ視聴が多いためか土日の連絡が月に数回ある。

○サポート内容

・主なサポート内容は次のとおり

テレビが映らない

- ・テレビの入力切替
- ・リモコンのスイッチ切替
- ・テレビや STB 等の電源が入っていない
- ・テレビの移動等による配線間違い

電話が繋がらない

- ・電話機の故障
- ・告知端末の不具合
- ・ONU の不具合

インターネットが繋がらない

- ・告知端末の不具合
- ・ONU の不具合
- ・無線ルータの不具合

※簡単な操作誤りや、すぐに回復できるケースが多い。

3 ケーブルテレビ業務委託事業

(1) 平成28年度ケーブルテレビ施設設備維持管理業務委託

事業理由: 情報格差の是正、難視聴地域の解消を目的に導入したケーブルテレビ事業の施設設備の維持管理を委託するもので、年間を通じた受信点設備・ケーブルテレビセンター設備保守点検・伝送路設備点検・伝送路保全工事を実施するもの。

委託業者: 熊本市中央区萩原町14番45号

株式会社SYSKEN

代表取締役 福元秀典

委託費: 7,936,596円

(2)平成28年度山江村ケーブルテレビ施設内UPSバッテリー交換業務

事業理由:平成22年のケーブルテレビセンター開設から6年が経過し、センター内のUPS(無停電電源装置)バッテリー交換時期を迎えたため実施した。

委託業者:熊本市中央区萩原町14番45号

株式会社SYSKEN

代表取締役 福元秀典

委託費:2,201,040円

(3)平成28年度山江村情報基盤通信機器更改業務

事業理由:平成22年のケーブルテレビセンター開設から6年が経過し、センター内の情報通信機器(IP電話、インターネット)に不具合が多発したことから、その解消を図るために実施した。

委託業者:熊本市中央区桜町3番1号

NTTビジネスソリューションズ株式会社 九州支店 熊本営業所

営業所長 大住義勝

委託料:575,640円

(4)平成28年度山江村情報基盤通信機器更改業務(その2)

事業理由:平成22年のケーブルテレビセンター開設から6年が経過し、センター内の情報通信機器(IP電話、インターネット)に不具合が多発したことから、その解消を図るために実施した。

委託業者:熊本市中央区桜町3番1号

NTTビジネスソリューションズ株式会社 九州支店 熊本営業所

営業所長 大住義勝

委託料:1,075,680円

